

令和5年度 港川こども園 職員自己評価シート

(こども園長・主幹保育教諭用)

行動指針に対する状況を記入します。(1(あてはまらない)⇔ 3 ⇔5(とてもよくあてはまる)) ※評価の平均値は(少数点以下四捨五入)

※評価の計、合計の値は、園長、主幹保育教諭の計、合計の値の平均値を表しています。

行動指針		評価の平均値
1 教育・保育目標に基づく園運営の充実		84.5
評価点の計(最大値95)		
教育課程		20.3
1	園の教育方針を周知し、教育目標の達成に向けて取り組んでいる。	4.0
2	園の教育保育目標を達成するための、教育課程の編成、実施、評価、改善等、一連のカリキュラム・マネジメントを適切に実施している。	4.3
3	教育課程に基づいた指導計画(期・月・週)の立案が適切になされ、保育に生かされている。	4.0
4	幼児の安全と育ちを保障する職員体制が構築されている。	4.0
5	自己評価・保護者アンケート・関係者評価等を実施し、園運営の改善を図っている。	4.3
安全		18.5
1	危機管理マニュアルに基づいて、幼児の安全管理を行っている。	4.3
2	緊急時に適切で迅速な対応ができるよう役割分担が明確になっている。	4.3
3	毎月の安全点検や、危険箇所の報告や処理等を適切におこなっている。	5.0
4	アレルギーに対する意思を持ち配慮している。	5.0
連携		18.5
1	園の教育内容が小学校以降の学習の基盤の育成につながることを理解し、組織的に実践している。	4.3
2	小学校の教育内容について交流会や連絡会、研修会を通して連携を図っている。	4.6
3	近隣の保・幼・こ園等と小学校との連絡会を実施している。	5.0
4	地域の人材や施設を活用し、保育に生かしている。	4.6
特別支援教育		18.0
1	全職員で幼児の発達の特性を理解し、適切な指導を行っている。	4.0
2	園内支援委員会を計画的に開催し、適切な指導を行っている。	4.0
3	個別の教育支援計画や個別の指導計画については、内容の確認や教諭への指導助言を行っている。	4.6
4	特別支援教育コーディネーターを中心に、保護者や関係機関と連携を図っている。	5.0
庶務管理		9.3
1	各種文書や情報管理の重要性を理解し、情報の漏洩・データ流出等がないよう適正に管理している。	4.6
2	各種文書やホームページ等で、園の情報を定期的に発信している。	4.6
2 職員の資質の向上		19.3
評価点の計(最大値30)		
1	職員間で一人ひとりの良さが発揮できるようにしている。	3.3
2	保育参観を含めた園内研修を計画的に実施し、職員の資質向上を図っている。	3.0
3	様々な研修会へ職員が積極的に参加できるよう、勤務時間等を工夫している。	5.0
4	研修会参加後は、他の職員へ伝達講習を行い、全体的な質の向上を図っている。	2.6
5	新しい教育と保育について情報を積極的に収集し、職員へ周知・還元している。	3.6
6	職員間で一人ひとりの保育課題に対して親身に話を聞き、その改善方法をアドバイスしたり、メンタル面の配慮を行っている。	3.3
3 子育て支援の充実		30.3
評価点の計(最大値35)		
1	保護者に対して園の教育・保育目標を説明し、理解を得ている。	4.3
2	保護者・地域から寄せられた意見や要望は真摯に受け止め、園全体で共有しながら工夫・改善し、対応している。	5.0
3	発達に課題がある幼児については、保護者の気持ちにより添い、適切な支援につながるよう丁寧に対応している。	4.0
4	学力向上推進の取り組みの説明会や子育て講演会など、保護者が子育てについてのアドバイスが得られるような機会を提供している。	4.0
5	保護者が子育てに関する情報を得たり、関心が持てるよう、ポスター掲示やチラシ配布、本の紹介などを積極的に行っている。	5.0
6	家庭支援が必要と思われる場合、専門機関や福祉機関と連携しながら、家庭支援につなげている。	4.0

7	学級懇談会や保育参加等において、保護者同士がつながるコミュニティの場を設けている。	4.6
4 行政への参画		評価点の計（最大値10）
1	浦添市の計画に基づき、認定こども園の充実した運営を行なっている。	4.0
2	国の制度改正・主要施策等をふまえた体制・環境づくりを行っている。	4.6
		評価点の合計（最大値170）
138		
<p>【取組状況に関するコメント】</p> <p>【園長・主幹保育教諭等の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園運営に関する取り組みには(項目1)月々の意識をもちながら取り組んでおり、十分な配慮がなされていると思う。また、地域や小学校との連携もスムーズに行えたと思う。 ・職員の資質向上に関しては、園長を含め、主幹保育教諭が個別の支援を要する園児や学級への援助が多く、保育や運営にゆとりをもって取り組む事が難しかった。そのため、園内研などを細やかに適時計画実践することが難しかった。(実践したいが時間確保が困難) ・子育て支援は年間を通して昨年以上に積極的に取り組み、多くの保護者や子ども達との関りを持つことができた。様々な支援を提供することができた。 ・畑や園庭が広い為、環境整備への取り組みが難しく用務員が欲しい。また、子育て中の職員が多く、日々のシフトを調整することが難しかった。職員不足時にも対応できる職員を配置してほしい。 ・職務の負担軽減となるよう、職員全体が休憩の取り方や保育時間以外の働き方などを工夫し、お互いが臨機応変に対応しながら職務をこなしていけるような働き方ができれば良いと思う。 ・職員がお互いを思いやる協力体制の薄さ(個人の休憩、時間は大切だが、少しの気配りや思いやりで、もっと日々の保育がスムーズに行えると感じた) ・子どもとの関わり方(自分の思いではなく、まずは子どもの気持ちや思いを受けとめてみる) ・職員の質の向上の為に、どこまでアドバイスしていいのか？個人の能力を考えながら、それぞれにあったアドバイスをしているつもりだが、助言に聞こえてしまうのか？難しい。 ・今後も一人ひとりの個性を活かしたアドバイスをするように気をつけたい。 ・主幹という立場での仕事は初めてのため、最初は不安なことが多々あったが、わからないことや教えてもらったことを何度も質問したり聞き直しても優しく教えてくれる先輩がいたので安心して仕事を覚えることができ成長できたと思う。 ・職員関係では相手の考えや意見を受けとめるが、それに対する対応や答えが上手く伝えられなかったり、対応できないことが多々あった。(今年入職のため)その都度対応を考え上手くいくときもあれば、関係が拗れることもある中、工夫しながら関係を築いた。もっと職員に寄り添って保育の困り感や悩みを一緒に考え対応していけるようにしていきたい。 <p>【自己評価シート（こども園長・主幹保育教諭等）の分析及び課題】 ◎</p> <p>良い所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程のPDCAや、適切なカリキュラムマネジメントの実施がなされている。（1教育・保育目標に基づく園運営の充実 教育課程 問2、問5） ・毎月の安全点検の実施を行うと共に、幼児が安全に過ごせるように管理運営することができている。（1教育・保育目標に基づく園運営の充実 安全 問3） ・アレルギーへの知識を個別の支援計画を作成して保育を行うと共に、特別支援コーディネーターを中心に保護者や各関係機関との連携を図っている。（1教育・保育目標に基づく園運営の充実 特別支援教育 問3、問4） <p>▼課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員間の保育参観や園内研修などの実施が少なかった為、保育教諭間で一貫した保育をすることが難しかった。（2職員の室の向上 問2） ・研修後の報告や情報伝達が十分に行うことが難しかった。（職員会議の時間確保の困難）（2職員の室の向上 問4） ・保護者に向けた子育て支援の取り組みでは評価は得られているが、保育環境への課題から職員の理解が得られないことがある為、取り組みの重要性を伝えていく必要がある。（3子育て支援の充実 問4） 		